



# 都志見新聞

(医)医誠会都志見病院  
http://tsushimi.jp

発行部数 383部  
発行月 1, 4, 7, 10月  
発行人 都志見病院  
広報室



## 地域がん公開講座を開催いたしました！

春の気配が感じられる令和7年3月1日（土）、萩市総合福祉センター多目的ホールにて、地域がん公開講座「今こそ医療維新の時～ロボット手術が変える地域がん診療」を開催致しました。当院主催による公開講座は今回で9回目となりました。これも地域の皆様方のご理解とご協力あつてのことと深く感謝申し上げます。また、当日は、146名の皆様が会場に足をお運びくださいましたこと、心より御礼申し上げます。

講演会は、まず、当院院長 山本達人が「地域がん診療の現状と展望」と題し講演を行わせて頂きました。県内のがんの罹患状況から、効果的な薬剤やロボットを用いた先進のがん治療の現状に併せ、医療・介護関係人口創出の必要性について説明をさせていただきました。

次に、特別講演の第一人者として、山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学助教 渡邊裕策先生にお越しいただき「食道がんのロボット支援下手術」についてご講演を頂きました。食道がんを含めた消化器科系がんのリスクや治療の現状、ロボット支援下手術の特徴と導入によるメリットやがん検診の重要性等を動画も交え大変わかりやすくご解説下さいました。

続いてお二人目として、同山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学助教 徳光幸生先生に「肝臓がんのロボット支援下手術」についてご講演頂きました。ロボットによる肝切除の実際や利点、力を入れておられる低侵襲肝胆膵外科手術の今後について等、広範なテーマを手術映像などを折込みながら詳しくご解説下さいました。

講演終了後の質疑応答では、参加された市民の方々から率直な感想や積極的に質問が行なわれるなど、がん診療に対する関心の高さがうかがえました。

現在、がんは2人に1人が罹る病気となっています。いわば「がんと共に生きる」時代が到来しています。当院では、今後も地域がん公開講座の開催を継続して参ります。次回も是非ご期待ください。



特別講演「食道がんのロボット支援下手術」  
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学助教  
渡邊裕策 先生



特別講演「肝臓がんのロボット支援下手術」  
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学助教  
徳光幸生 先生



地域がん公開講座  
今こそ医療維新の時  
ロボット手術が変える地域がん診療

令和7年 3/1 (土) 全席無料  
14:00～16:00 (開場13:30)

〒751-8585 萩市総合福祉センター多目的ホール

特別講演  
「地域がん診療の現状と展望」  
講師 山本 達人 先生

特別講演  
「食道がんのロボット支援下手術」  
講師 渡邊 裕策 先生

特別講演  
「肝臓がんのロボット支援下手術」  
講師 徳光 幸生 先生

都志見病院 TEL 0938-22-2811 (代)



## 令和7年4月 新入医局員紹介

令和7年4月より得能和久医師（外科）、木村祐太医師（外科）、濱永友花里医師（外科）が当院常勤医として着任されました。今回は3名の先生方にインタビューをしました♪

- ①趣味は？ ②尊敬する先生とその理由  
③医師になろうと思ったきっかけは？ ④もし医師になっていなければ？



外科  
得能和久 医師

- ① 競馬  
今は武豊騎手を応援するためにやっています！  
② 大門未知子  
失敗しないので（笑）  
③ 小学生の頃、眼の手術を受け、治して頂いたことがきっかけです。  
④ 料理人か、小学校の先生か、ユーチューバー目指していたかな（笑）

- ① 魚釣り、草刈り、薪作り（玉切り、薪割り）  
② 山本達人先生  
長年、萩の医療をよりよくするため真摯に取り組んでこられたから。  
③ 尊敬していた祖父（佐々並在住）を癌で亡くしたため。  
④ 農家

2023年から佐々並に移住し、  
兼業農家を目指して勉強中です。



外科  
木村祐太 医師



外科  
濱永友花里 医師

- ① 美味しいものを食べることです。  
② 得能先生☆  
昨年度も1年間お世話になった私の最初の指導医です。  
優しく楽しく、頼りになる先生で、とても尊敬しています。  
③ 素敵な職業だと思ったからです。  
④ パイロット！



### 【退任医師のお知らせ】

松元満智子医師（内科）、前田祥成医師（外科）、来嶋大樹医師（外科）、  
西尾侑祐医師（外科）が令和7年3月31日付けで退職致しました。

よろしくお願いします



# 令和7年度 新入職員紹介

今年度の新入職員です!! 皆さん、よろしくお願いいたします。



後列左から：榊原千尋、 - 、齊藤智子、和田麗蒼、宮木妃菜、藤田千恵、藤田正紀恵  
前列左から：平畑麗良、田中優里菜、濱永友花里、得能和久、木村祐太、荒瀬美紘、藤井桃果



## 看護部の 新人研修報告

新人看護師を対象に実施した1年間の研修を紹介します。  
皆さんよく頑張りましたね。成果を実践に活かしてくださいね。  
指導を担当された先輩たちも、お疲れ様でした。



4月：注射の技術



5月：①記録の書き方②経管栄養法・  
口腔ケア・吸引法・挿管の介助方法



6月：シリンジポンプ・  
輸液ポンプの取り扱い



7月：個人情報の  
取り扱い・入院時の対応



8月：感染予防・  
滅菌と消毒方法



9月：救急法



10月：多重業務を  
解決しよう



11月：医療安全



12月：急変時の対応



1月：死亡時の  
ケアと看護



2月：看護倫理

## 市民公開講座「心臓発作と脳卒中を防ぐために」へ参加いたしました！

令和7年2月15日(土)、萩市総合福祉センターにおいて萩市と山口大学医学部附属病院第二内科主催の市民公開講座が開催されました。当院からは医師・看護師・リハビリ・栄養士が萩市民病院、玉木病院と合同で参加いたしました。

山口大学医学部附属病院の縄田医師による講演として「心臓が原因で脳梗塞!?心房細動のサインを見逃さない!」、当院の金谷医師による「あなたの脳大丈夫!?心原性脳塞栓症の予防と治療」と題した講演が行なわれました。

また、会場ではブース展示が行なわれ、脳卒中予防のコツを学べる多職種ブースでは健康チェックや心臓に良い食事・運動の紹介、薬に関する相談やリハビリ体験を展開し、心臓発作と脳卒中の予防についての啓蒙活動を行いました。

当日は総計223名の来場者があり、参加された市民の方々はラリー形式で各ブースを回り、質問や相談をされ長蛇の列ができるなど、関心の高さがうかがわれました。参加した職員も市民の皆様や参加施設の方々と交流の機会が持てる等、良い経験ができました。

看護部長 石井 恵子

**市民公開講座  
心臓発作と脳卒中を防ぐために**

日時: 2025年2月15日(土) 13:00~14:30 (開場12:30)  
※ブースは16:00まで開催

場所: 萩市総合福祉センター  
萩市大学江向510番地 TEL: 0838-25-3585

講演1: 心臓が原因で脳梗塞!?心房細動のサインを見逃さない!  
縄田 純也 (山口大学医学部附属病院 第2内科 診療助教)

講演2: あなたの脳、大丈夫!?心原性脳塞栓症の予防と治療  
金谷 妃呂子 (都志見病院 脳神経外科)

脳卒中予防のコツを学べるブースが出展!ぜひ体験しましょう!  
看護師ブース: 健康チェックや日常生活でのアドバイスなど  
栄養士ブース: 脳・血管に良い食事の提案など  
運動療法ブース: 心臓と脳に良いエクササイズを紹介など  
薬剤師ブース: おくすりに関する質問受付など  
脳卒中なんでも相談室: 脳卒中療養相談士もやってくる!  
●ブース出展病院  
山口大学医学部附属病院・都志見病院・萩市民病院・玉木病院

参加 申込  
無料 不要

お問い合わせ: 山口大学 第二内科事務室  
Tel: 0836-22-2248 mail: ninai@yamaguchi-u.ac.jp  
主催: 萩市、山口大学医学部附属病院 第二内科



## No.28

## 春バテってなあに??

リハビリテーション部 技士長 佛圓 祐基

暖かかったり、寒かったりと寒暖差の激しい日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。この時期は昔から三寒四温といいますが、寒暖差が激しくて体がだるいなど不調をきたしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。春に体の不調を感じる人は多いようで、これは気温の変化による自律神経のバランスが崩れることが影響していると言われています。

自律神経を整えるには、①**1日3食バランスよく食事をする：特に朝食をとる**(夜間にかけて低くなった体温を上昇してくれます) ②**適度な運動**(ウォーキング等ゆっくり長くできる有酸素運動が良いとされています) ③**朝日を浴びる**(自律神経の調節に関わるセロトニンというホルモンが分泌されます)などが良いとされています。食事や有酸素運動は以前のコラムでも大切な事とお話させていただきました。主治医の先生と相談しながら、無理のない範囲で運動などを実施していただけましたら幸いです。

